



TITLE:

表紙・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次. 京大地球物理学研究の百年 2010, 1

ISSUE DATE:

2010-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/169836>

RIGHT:

京大地球物理学研究の百年

国際高等研究所・竹本修三フェロー研究会

- 第1回 2009年6月27日 国際高等研究所 216 会議室
- 第2回 2009年11月7日 国際高等研究所 216 会議室
- 第3回 2010年2月13日 京都大学理学部 6 号館 301 号室

京大地球物理学研究の百年

目 次

緒 言	1
研究会「京大地球物理学研究の百年」(第1～3回): プログラムと参加者	2
第1回研究会	
尾池和夫: 所長挨拶	4
竹本修三: 寺田寅彦と京大地球物理学との関わり	6
島田充彦: 阿武山地震観測所と京大高压実験の歴史	8
須藤靖明: 京大火山学研究の光と影	13
山元龍三郎: 滑川忠夫先生に続く京大気象学の系譜	17
佐納康治・永野宏: 長谷川万吉先生と地球電磁気学研究	20
総合討論(司会: 荒木 徹)	27
第2回研究会	
竹本修三: 開会挨拶	34
尾池和夫: 大陸移動説の歴史を振り返る	35
大谷文夫: 京大地殻変動観測に携わった40余年	39
石原和弘: 東南アジアの火山研究—京大の海外貢献	43
淡路敏之: データ同化によるバーチャル海洋づくり	47
加藤 進: 地球電磁気学研究で京大の果たした役割	51
廣田 勇: 国際気象界のなかの日本—京都から何が発信されたか	57
総合討論(司会: 荒木 徹)	62
第3回研究会—京大地球物理学研究の現状と将来の展望—	
竹本修三: 開会挨拶	68
福田洋一: 固体地球物理学分野の現状と将来	69
余田成男: 大気圏物理学分野の現状と将来	73
町田 忍: 太陽惑星系電磁気学分野の現状と将来	78
総合討論(司会: 廣田 勇)	82
研究会世話人会メモ(1)	88
研究会世話人会メモ(2)	92
特別寄稿	
加藤 進: 京大地球物理学教室初期における教授群像	93
川崎一朗: 「京大地球物理学研究の百年」を聞きながら考えていたこと	95
橋爪道郎: 京大における爆破地震動観測と地殻構造の研究	99
三雲 健: 京大の1970-80年代の地震学研究の1側面: プレート・テクトニクスと 地震発生機構	103
安成哲三: 京都大学の「気候学研究」は何をやってきたか? —気候学40年史の批判的総括—	109
竹本修三: 西堀榮三郎と阿武山地震観測所	113
永野宏・佐納康治: 上海自然科学研究所物理学科と京都帝国大学理学部との関わり	117
荒木 徹: 地磁気世界資料解析センターの設立	132
対談	
佐々憲三・三木晴男: 京大地震学史に関連して	137
京大地球物理学研究に関係した教員の在職期間一覧	149
編集後記	156

編集後記

編 者： 竹本修三・廣田勇・荒木徹

2009 年度に国際高等研究所のフェロー研究会として 3 回にわたり開催された「京大地球物理学研究の百年」の成果を、ここに纏めて皆様にお読みいただける運びとなったことを心より嬉しく思います。第 3 回セミナーの後の総合討論で参加者各位のご意見を伺ったところ、このような貴重な記録は、長い年月を経た後でも、次世代の人々に知って貰うことが大切であり是非印刷物にして残して欲しいとのご要望がありました。

それを受けて、世話人一同、可能な方策を探った結果、国際高等研究所のご理解を得て、同研究所のフェロー経費で集録の印刷が可能となりました。この集録には、セミナー講演録のみならず、この研究会の主旨と意義にご同意くださった何人かの方々からの特別寄稿も含めることができました。編集に当たっては、総合討論の各所で議論のあったように、この歴史研究会の集録を当事者の回顧録のみに留めず、歴史的事実の記載と学問的評価の両面を強く意識して纏める方針で臨みました。言い換えればこれは、京大地球物理学百年の歴史の「正史」であると同時に「秘話」をも含めた「光と影」を浮き彫りにしたつもりです。巻末の教員リストは、夫々の関係部局に在職しておられた方々のお名前を通して時代とテーマを読み取っていただくための資料であり、講演録と特別寄稿はときに厳しく学問的成果の歴史評価となっています。しかし限られた 3 回のセミナーで総てを尽くすことはもちろん不可能です。今後、出来る範囲で論評と資料の追加を続けたいと願っていますので、各位のご理解とご協力を期待する次第です。

繰り返しになりますが、この歴史研究の集録は、関連する部局の図書室や研究室で保存され、20 年後 30 年後以上も後の世代の人々にとって先達の貴重な教訓として読み続けられることを念願してやみません。

最後に、この「京大地球物理学研究の百年」の一連のセミナーの重要性を十分にご理解いただき、多大のご支援とご協力を賜った国際高等研究所の尾池和夫所長を始め、同研究所のスタッフの皆様には深甚なる感謝を捧げます。また、研究会の中間報告を京都大学理学部地球物理学教室の同窓会 HP に掲載することをお認めいただいた田中寅夫地物同窓会長と実際にその作業をすすめてくださった同教室の福田洋一教授と高畑武志技術専門職員に厚く御礼を申し上げます。

京大地球物理学研究の百年

財団法人国際高等研究所フェロー研究会集録

発行日 2010 年 3 月 25 日

編 者 国際高等研究所フェロー 竹本修三

京都大学名誉教授 廣田 勇

京都大学名誉教授 荒木 徹

(非売品)